

## 人と知り合う

### 関係づくりと言ってもなにからやればいいのか？

この地区のキーパーソンは誰なのか、あらかじめ前任者や管理職、ケアプラザの方等に予め聞いてみよう。  
会議や事業のときに名刺を持ってあいさつに行くようにしたら、相談できる人が増えました。

地域の人には、どのくらいここに住んでいるのか、昔はどんな様子だったか、どこで買物するのか、地域の好きなところ等をいろいろ聞いてみるよ。地域のこともわかるし、仲良くなれるからおススメ！

その人の考えがわかってくると、「このことなら〇〇さんに聞いてみよう！」と相談できる人が増えてきました。  
地域のキーパーソンの記録をつけておくと、引継ぎの時にも役立ちました。

### 会議に参加！何をしたらいいんだろう？

何のための会議なのか確認をし、今日の自分の目標を立てています。  
「今日は〇〇さんと話をしてみよう！」  
「今日の会議では〇〇の情報提供をしてみよう！」等

会議中に発言できなくても、会議の前後で雑談したり、わからなかったことを聞いてみたら、その人がどんな考えを持っているかを知る機会にもなったよ。少し勇気を出して「〇〇」って何ですか？等と聞いてみると、意外と盛り上がることも。

「社協さんから何かある？」と聞かれた時のために、ネタになるものを準備して持っています。（7つ道具参照）

地区の会議で、会長に提案して、話していることをホワイトボードに板書をするようにしてみたよ。流れがよくわかって話し合いが進みやすくなり、結論もみんな確認できるようになったよ。耳が遠い方に好評！

進行をする場合には、「誰に何の話を振ると話しやすいか」等を、先輩やケアプラザの人等に相談して準備をしている。  
事前に、参加者に「こんな風に進めたいけどどう思いますか？」等と相談しておく、会議の進行に協力してくれることも。

## 先輩たちの工夫

## 土地を知る

### 情報収集のコツ

初めてのときは、区民生活マップや防災マップを手に入れて、町内会館の場所やケアプラザや学校、公園等をマークしています。

地域の組織や人、会議や事業について、関係性を図にしてみるとわかりやすくなるよ。

### まちあるきのコツ

出かけたときは、回りをしながら帰るようにしているよ。自治会の掲示板のお知らせ等からも、その地域の空気がわかるよ。

時間を変えて歩くと、住民の暮らしぶりが見えてくるかも。午前中には見かけなかった子どもたちが、夕方には公園で遊んでいる様子が見えたり…。

「坂が多くて大変」だけでなく「坂を上ったところから見える景色が大好き」という住民さんの声も聞いてみて。

## 困りごとを知る

### 困りごとをきいてもすぐに答えられない…

地域では、わからないことを質問されることも多いよね。その場で答えられなくても、持ち帰って先輩に相談してから答えるようにしているよ。誠意をもって対応することが一番。

例えば「食料支援のこと教えて」と聞かれたら、どうして知りたいのか聞いてみよう。支援を受けたい人があるのか？寄付をしたいのか？等の背景がわかれば、何を確認すればよいかははっきりするよね。

## その他

### 記録が大事と言うけれど…

例えば会議や事業に出かけていく前に、地域支援記録の中から、1年前は何をしていたのか？直近ではどんな話がされたのか？を確認しておきます。  
逆に、自分の記録は次の担当者へのメッセージのつもりで。

最初のうちは、会話の何がポイントなのか？記録に残すべきことは何なのかわからなくて当然。  
地域から帰ってきたら、隣の席の先輩でも誰でもいいから、「今日こんなことがあったんですけど…」と話してみよう！話しながらポイントが整理できるかも。

### 地域に出るときの7つ道具

名札	予備があると安心（直行用）
名刺	多めが安心
マップ	「〇〇小学校で～」等の話題が出たらチェック。迷子防止にも
役員等の名簿	名前と顔を早く覚えるために
話のネタ	区協のイベントや講座のチラシ、助成金や共同募金、福祉教育の案内等。 3月はボランティア保険の申込書も
自分の予定表	急な日程調整に備えて
筆記用具	意外と忘れがち？デジタルでも可
誠実さ・やる気	笑顔とあいさつも忘れずに！

## 区社協 新 配属職員のための

# 地域支援のステップガイド

令和8年1月版  
地区社協支援担当者会議企画班 / 地域福祉課

これから地域支援を始めるあなたが、「何から始めればいいのか？」をまとめたガイドです。

まずは、「何のために地域に出るのか？」を考えてみましょう。当面の目標を立て、上司や育成リーダー等の先輩職員のアドバイスも受けながら、少しずつ取り組んでみてください。

一歩進むたびに地域が好きになり、この仕事の魅力にも気づけるはず。ときどき振り返りながら、次のステップへ進んでいきましょう。

## 区社協の「地域支援ツール」

### 1 地域アセスメントシート

- ・地域についての情報を集め、分析するシートです。

※区によっては地域支援チームの共有シートを使っている場合があります。

※区や横浜市から提供される情報も活用しましょう（地区概況シート等）

### 2 地域支援計画・振り返りシート

- ・毎年、区社協としての支援目標と支援計画を立てます。
- ・年2回（9月、3月）振り返りを行ないます。

### 3 地区社協状況書

- ・地区社協の基本情報（組織や事業・予算決算等）を記録するためのアプリです。
- ・年に1回、地域の皆さんにヒアリングをして更新します。

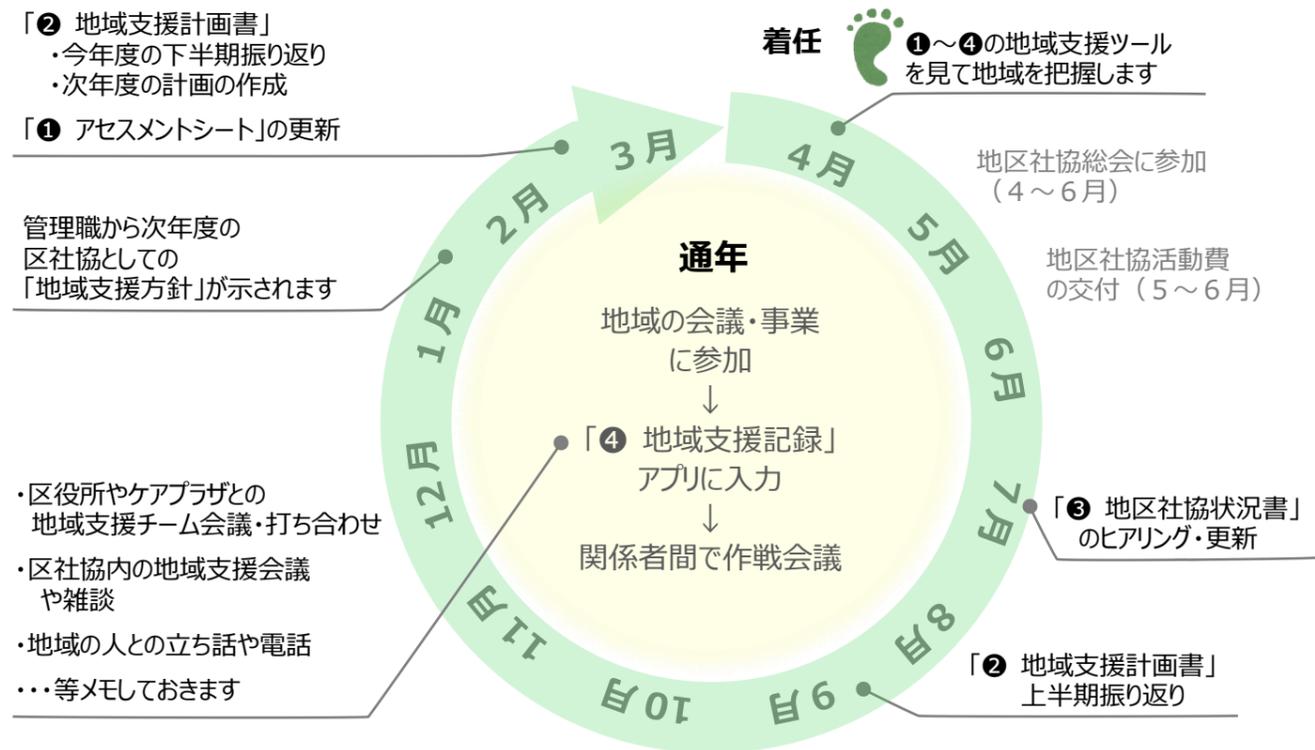
kintone アプリ

### 4 地域支援記録

- ・地域の会議や事業に参加したとき等に記録するアプリです。
- ・立ち話や電話等、ささいなことでもメモしましょう。
- ・アプリ上で共有できるので、コメント質問等の書き込みもできます。

kintone アプリ

## 地域支援の1年間の流れ



## 人と知り合う

- 地域組織の代表者や役員
- 地域活動の実働者
- ケアプラザ、区役所等の支援機関の職員
- その他  
(施設、学校、企業や商店、農家、地主、お寺や神社等)

### まずはここから (難易度★)

- ◇ 地域組織 (地区社協、町内会、民生委員等) の役員や、実際の活動者を調べる
- ◇ ケアプラザ等の他機関の支援者を調べる
- ◇ 区社協が参加している地域や他機関との会議や事業が何か、いつどこで開催しているかを調べる
- ◇ 会議や事業に参加し、自分のことを知ってもらう (関係づくり)
- ◇

### 次はこれ (難易度★★)

- ◇ 地域の活動者や他機関の支援者の地域への想いや考えを聞いてみる
- ◇ 他機関 (ケアプラザ等) が行っている業務や事業を教えてください (可能なら見学させてもらう)
- ◇ 区社協が助成金を出している団体の活動を調べてみる (可能なら活動を見学させてもらう)
- ◇

### ここまでがんばってみよう (難易度★★★)

- ◇ 地域活動者同士の関係性を把握し、関係図を作成する
- ◇ 福祉以外の団体や人 (施設、学校、企業や商店、農家、地主、お寺や神社等) とも知り合うチャンスを探してみる
- ◇
- ◇

## 土地を知る

- 地域の特性や地域資源を把握する
- 地形、交通、生活動線、社会資源、自然環境、生活環境、歴史、暮らしの状況等

- ◇ アセスメントシート、地区概況シート、地区社協状況書、地域支援計画書、地区別計画 (地福計画)、地区のマップ等を見る
- ◇ 地区社協総会の資料や過去の資料を見る
- ◇ 担当地区を歩いてみる (まち歩き)
- ◇

- ◇ 地域の活動者や、事業の参加者、他機関の支援者等に地域のことを聞いてみる  
例) ・好きな場所、よく行く場所等  
・不便なところ、困っているところ等  
・いつから住んでいるか? 歴史は?
- ◇ 新たに分かった内容があれば、地域アセスメントシートを更新する
- ◇

- ◇ 自分が思う地域の良いところを見つけて言える
- ◇ ケアプラザの職員や地域の人と一緒に、マップ作りやデータの分析を試みる
- ◇
- ◇

## 困りごとを知る

- 地域組織の運営や活動の困りごと
- 個々の生活の困りごと

- ◇ 区社協の個別支援業務 (ボランティアセンター、移動情報センター、あんしんセンター、食支援等) に寄せられた相談について調べる  
例) ・担当者に話を聞く  
・担当地区の相談件数や内容を確認する
- ◇

- ◇ 会議や事業の中で、活動上の困りごとや、生活上の困りごとの話が出ていたら、聞き逃さない!  
聞いた内容は地域支援記録に入力して区社協内で共有する
- ◇ 包括カンファレンス、地域ケア会議等で話されたケースの個別ニーズを知る
- ◇

- ◇ 民生委員さん等に、日頃、地域住民からどのような相談を受けているかや、気になっている人の話を聞いてみる
- ◇ ケアプラザ等の職員さんに、どのような相談が多いか聞いてみる
- ◇

「難易度★★★」までが地域支援のスタート部分です  
この時期は、知識よりも **誠実さ・やる気** を大切に!

- ・誘われた会議や事業になるべく参加して自分のことを知ってもらったり、時には雑用も引き受けて、地域の人と仲良くなる  
(でも、何でも引き受けるのはNGなこともあるので、先輩と相談しながら)
- ・地域支援は、「地域の課題 (悪いところ) を見つけて解決しなきゃ」と考える前に、その地域を愛している住民の皆さんと同じ目線で地域を見つめることから始まる
- ・「またおいで! 」と呼んでもらえるようになる
- ・ちょっとしたことでも先輩たちに聞いてみる

ここから先は、知識や経験を積み上げ、**社協らしい地域支援** ができる職員をめざしてください

- ・地域の活動者の想いを知り、必要なタイミングで後押しができる
- ・課題を整理し、次の展開を思い描きながら動ける
- ・押しつけでも丸投げでもない、地域の主体性を引き出す支援ができる
- ・出席する会議や事業での自分 (地区担当) の役割を理解し、優先度を判断できる
- ・全ての会議や事業に顔を出さなくても、地域から相談される
- ・自分がいなくても、地域の取組が回るように支援できる